

事業群評価調書(令和2年度実施)

基本戦略名	10 にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する	事業群主管所属	地域振興部新幹線対策課
施策名	(1) 九州新幹線西九州ルートなどの人流・物流を支える交通ネットワークの確立	課(室)長名	峰松 茂泰
事業群名	① 九州新幹線西九州ルートの整備促進	事業群関係課(室)	新幹線事業対策室

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)							(取組項目)				
九州新幹線西九州ルートは、西九州地域の産業振興や交流人口の拡大、離島地域の活性化等につながる重要な交通基盤であり、鹿児島ルートとともに一体的に整備することで九州地域の一体的浮揚をもたらすことから、早期完成・開業を目指します。また、新幹線を軸として、佐世保線等の県内鉄道の輸送改善に努めます。							i) 西九州ルートの令和4年度までの開業と全線フル規格化の実現 ii) JR佐世保線の輸送改善に向けた取組 iii) 西九州ルートの早期完成・開業を目指した整備促進				
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	土木工事・軌道工事の整備促進		目標値①	—	—	—	—	—	概成 (R2年度まで)		武雄温泉・長崎間については、対面乗換方式による令和4年度の開業に向けて、着実に工事が進んでいる。 一方、新鳥栖・武雄温泉間については、与党PT検討委員会において、整備方針の検討が行われており、ヒアリング等において、フル規格による整備の早期決定に向けて要望等を実施した。 そのような中、昨年8月に与党PT検討委員会からフル規格による整備が適当であるとの基本方針が示され、本年6月から国土交通省と佐賀県との間で整備のあり方についての協議が開始された。
			実績値②	—	—	—	—	—	進捗状況		
		達成率 ②/①	—	—	—	—	—	—			

2. 令和元年度取組実績(令和2年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 令和元年度事業の実施状況 (令和2年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和元年度事業の成果等	中核事業	
				H30実績	うち一般財源	人件費(参考)			主な指標	H30目標	H30実績	達成率			
				R元実績	R2計画	R元目標				R元実績					
1	取組項目 i	新幹線・鉄道整備促進事業 新幹線対策課	H7-	24,598	24,598	39,860	国、市町、鉄道事業者等	全線フル規格の実現に向け、国等への要望活動や情報収集、県内向けの広報・啓発活動を行った。また、県内鉄道網の整備ならびに改善の促進を図った。	活動指標	要望活動(回)	数値目標なし	13	—	●事業の成果 ・与党PT検討委員会において、フル規格による整備が適当であるとの基本方針が示された。また、広報活動等により、令和4年度の開業やフル規格に対する気運が高まった。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・令和4年度の着実な開業に向けて、国において必要な財源が確保された。	○
				27,433	27,433	39,770					数値目標なし	8	—		
				36,026	36,026	39,875					根拠法令	—	数値目標なし		
2	取組項目 ii	JR佐世保線高速化整備事業 新幹線対策課	R元-4	/	/	/	JR九州	令和4年度の九州新幹線西九州ルート開業に合わせて、JR佐世保線を高速化するために必要な地上設備の整備を実施する。	活動指標	JR九州との協議回数(回)	4	6	150%	●事業の成果 ・レール交換や路盤改良、橋りょう設計等を実施し、令和4年度の高速化に向けて整備が進んだ。	
				54,554	54	3,977					6				
				301,846	46	3,988					根拠法令	—	6		
										24					

3	取組項目 iii	新幹線整備事業費負担金	H19-	14,406,675	112	27,902	鉄道・運輸機構	九州新幹線西九州ルート建設に係る、鉄道・運輸機構に対する負担金	活動指標	負担金支出額(千円)	数値目標なし	14,406,675	—	●事業の成果 ・九州新幹線西九州ルート建設に寄与した。
				15,421,493	76	27,839				数値目標なし	15,421,493	—		
				23,258,313	114	27,913				数値目標なし	—	—		
	—	—	—	数値目標なし	—	—								
	新幹線事業対策室						根拠法令		成果指標	西九州ルート令和4年度までの開業	数値目標なし	—	—	

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	西九州ルート令和4年度までの開業と全線フル規格化の実現	●実績の検証及び解決すべき課題 新鳥栖・武雄温泉間の整備のあり方については、国土交通省と佐賀県との間で協議が開始されており、今後は、諸課題について、精力的な協議の積み重ねにより、議論が進展していくことが必要である。	●課題解決に向けた方向性 国土交通省と佐賀県との協議状況を注視するとともに、西九州ルート関係者の一員として、必要な際には、しっかりと考えを述べていくなど、議論が前進するよう積極的に対応し、全線フル規格による整備の実現に向けて力を注いでいく。
ii	JR佐世保線の輸送改善に向けた取組	●実績の検証及び解決すべき課題 令和4年度の九州新幹線西九州ルート開業に合わせて、JR佐世保線の高速化が実現するよう、地上設備の整備を実施していくことが必要である。	●課題解決に向けた方向性 JR九州や佐世保市と連携し、進捗状況を確認しながら、着実な工事の実施を図る。
iii	西九州ルート早期完成・開業を目指した整備促進	●実績の検証及び解決すべき課題 西九州ルート長崎県工事の進捗として、令和2年3月末現在の土木工事の完成率は96%、駅舎工事は諫早駅と新大村(仮称)駅の工事を実施中、軌道工事は16%完成し、電気工事は順次着手している。 西九州ルート早期完成・開業を目指した整備が必要である。	●課題解決に向けた方向性 武雄温泉～長崎間の早期完成・開業ができるように鉄道・運輸機構や地元市町等と連携して、工事の進捗を図っていく。

4. 令和2年度見直し内容及び令和3年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	令和2年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和2年度の新たな取組は「R2新規」等と記載、見直しがない場合は「-」と記載)	令和3年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目 i	新幹線・鉄道整備促進事業 新幹線対策課	—	—	国土交通省と佐賀県の協議状況を注視するとともに、西九州ルート関係者の一員として、必要な際には、しっかりと考えを述べていくなど、議論が前進するよう積極的に対応し、全線フル規格による整備の実現に向けて力を注いでいく。 また、令和4年度の開業とフル規格の実現に向けて、長崎新幹線・鉄道利用促進協議会を通じた各種広報活動を実施し、県民の気運を高めていく。	現状維持
2	取組項目 ii	JR佐世保線高速化整備事業 新幹線対策課	—	—	引き続き、令和4年度の九州新幹線西九州ルート開業に合わせて、JR佐世保線を高速化するために必要な地上設備の整備を実施する。	現状維持
3	取組項目 iii	新幹線整備事業費負担金 新幹線事業対策室	—	—	武雄温泉～長崎間の令和4年度までの開業に向けて、今後も新幹線整備を推進する。	現状維持

注:「2. 令和元年度取組実績」に記載している事業のうち、令和元年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点